

夏の感染拡大防止対策

道としては、帰省など人の移動が活発化することで感染者数や入院患者数が更に増加することも懸念されることから、道民の皆様と認識を共有し、取組を強化するため、**BA.5対策強化宣言**を行い、集中的に取組を展開します。

<道民の皆様へのお願い>

基本的な感染防止行動の徹底と感染への備え

日常生活

- 三密回避、人との距離確保、マスク着用、手指消毒、換気を徹底
- 混雑している場所や感染リスクの高い場所はできる限り避けて行動。特に重症化リスクの高い高齢者や基礎疾患のある方、そうした方々と会う方の双方が慎重に行動
- 重症化リスクの高い高齢者や基礎疾患のある方、そうした方々と会う方の双方が基本的な感染防止対策を徹底
- 他の都府県への移動に際しては、基本的な対策を徹底し、移動先での感染リスクの高い行動を控える
- 感染した場合に備え、解熱剤や3日間程度の食料等を用意

飲食

- 短時間、深酒をせず、大声を出さず、会話の時はマスクを着用。特に大人数や普段会わない方との飲食の際は、より一層徹底
- 北海道飲食店感染防止対策認証店等を利用し、飲食店等の感染防止対策に協力

検査等

- 感染に不安を感じる時は、ワクチン接種の有無にかかわらず、検査を受ける。(無症状の方に限る)
- 帰省等で重症化リスクの高い高齢者や基礎疾患のある方に会う際には、事前に検査を受け、陰性を確認
- 発熱等の症状がある場合は、外出や移動を控え、医療機関を受診

ワクチンの接種

4回目

- 帰省する方などとは会う60歳以上の高齢者等接種の対象となる方は、重症化予防のため、積極的に接種をご検討ください

3回目

- 特に若年層の方は、夏休み期間を活かした接種を積極的にご検討ください